

競技注意事項

1 規則について

- 1) 本競技会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則及び国内広告規定により実施する。

2 アスリートビブスについて

アスリートビブスは主催者が 2 枚用意する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。大会当日、各団体の代表者が、受付へ受け取りに来ること。ただし、跳躍競技者は胸または背のみの着用で良い。トラック種目出場者は主催者が用意する写真判定用腰ナンバー標識（競技終了後回収）をパンツの右下やや後方に付ける。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。

3 競技者の招集について

- 1) トラック種目

1 次招集：各種目の競技開始 45 分前に開始し、競技開始 30 分前までに、招集所(本部横)にて行う。その際に、腰ナンバー標識を配布する。リレー種目は、オーダー用紙（本部に用意）を記入の上、当該種目の 1 次招集【開始時刻】の 60 分前までに、本部へ提出すること（メンバーについては競技規則 TR24.10 を参照のこと）。リレーの 1 次招集は 4 人揃ってから来ること。ユニフォームのチェックも同時に行う。

最終コール：競技開始 10 分前に各種目スタート地点にて、アスリートビブスの付いたユニフォーム、腰ナンバー標識を着用した状態で行う。

- 2) フィールド種目

1 次招集：なし

最終コール：招集は競技開始 30 分前に各競技実施場所にて、アスリートビブスの付いたユニフォームを着用した状態で行う。

- 3) 2 種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が「重複出場届」を本部から受け取り、招集を受けることができない種目の 1 次招集完了時刻までに本部に提出すること。
- 4) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理する。

4 欠場について（対校・オープン共通）

- 1) 大会当日に欠場が決まった場合は、一次招集完了時刻までに招集所にて直接申し出ること。代理での申し出も可能とし、欠場届は用いない。
- 2) 大会前日までに棄権が決まっている場合は、メール(keiotf.entry@gmail.com)にて、その旨を連絡すること。

5 フィールド競技について

- 1) 試技順は、プログラム記載順とする。
- 2) 対校種目とオープン種目が同時に実施される競技については、対校種目とオープン種目を同時に行い、試技順は対校男子→OP 男子→対校女子→OP 女子の順とする。
- 3) 投てき競技、跳躍競技（走高跳、棒高跳を除く）の試技数は次の通りとする。対校種目については、全員 3 回の試技を行い、上位 8 名が記録順にさらに 3 回の試技を行って順位を決定する。出場選手が 8 名以下の場合、出場選手全員が 6 回の試技を行って順位を決定する。ただし、オープン種目については、試技の回数は 3 回とする。
- 4) 三段跳の踏切板の位置は、砂場に近い方の端から男子 12m、女子 10m とする。
- 5) 競技開始 30 分前から練習を可能とする。
- 6) 跳躍競技（走高跳、棒高跳）のバーの上げ方は競技者と相談の上、決定することにする。

6 トラック競技について

- 1) トラック競技の計時は、すべて電気計時（1/100 秒）を用いて行う。
- 2) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。エントリーが 6 名以下の場合、1 レーンを空ける。
- 3) 同成績による次ラウンド選出者の選定は競技規則 TR21 により行う。

- 4) 本大会で使用するシューズについて、靴底の厚さについては TR5 及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。World Athletics (WA) が承認したシューズリストで No と記載されている靴については使用ができないので、各自で確認しておくこと。<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

7 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（やり・円盤・棒高跳用ポールを除く）は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。
- 2) 持ち込みのやりに関しては、検定を受け合格したものに関し限り使用できる。検定は、招集完了時刻 90 分前から 60 分前までとし、本部後ろにて行う。なお、検定に合格したやりは、他の競技者と共有となる。また、破損については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みのやりは競技終了後競技実施場所にて返却する。

8 正選手の入替えについて

- 1) 補欠は男子 2 名、女子 2 名とする。
- 2) 期限は 3 日前の 9 月 19 日（土）とし、この日までに、メール(keiotf.entry@gmail.com)にて、その旨を伝えること。その際、入替えの理由を必ず明記するようにし、期限後の正選手入替えは原則認めない。
- 3) 正選手入替えの理由は怪我の他、選手の不調による変更等も認めることとする。
- 4) リレー種目に関して、交代が可能な基準は「対校種目に出場した（出場する）選手及び補欠」に限定する。

9 対校種目の得点について

- 1) 男女ともに各種目 1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点とする。
- 2) リレー種目に関しては、1 位 3 点のみとする。

10 各種書類について

重複出場届、リレーオーダー用紙の配布場所、提出先、依頼先などは全て本部とする。記録証明書とエントリー費の領収書の発行を希望する場合は、大会終了後にメールにてその旨を連絡すること。順次大会運営よりメールにて送付する。

11 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。必要に応じて、大会本部にて主催者側がテープ等を用いて対応する場合がある。

12 その他

- 1) 2026 年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について特に注意すること。
- 2) スパイクを履いたままコンクリートの上を歩くことを禁止する。
- 3) 競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もある。
- 4) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行う。
- 5) 緊急車両の手配について、救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 6) 慶應義塾大学日吉陸上競技場開門及び閉門時刻について（開門）7 時 00 分（閉門）17 時 00 分とする。
- 7) 競技運営上の諸問題は大会総務、競技規則上の諸問題は審判長が決定する。
- 8) その他、不明の点は大会本部に問い合わせること。
- 9) 5000m,10000m の競技実施中にはバックストレートにて給水を実施する。